

埼玉大学経済学部同窓会

# 経和会会報

第 11 号

2008年5月30日発行

発行 埼玉大学経済学部同窓会  
経和会会長 田坂 敏幸  
編集 経和会常務理事 平本 一郎  
さいたま市桜区下大久保 255 番地  
TEL 048-858-9218

経和会ホームページをご利用ください

URL http://www.keiwakai.net  
メール webmanager@keiwakai.net

## 若手卒業生に期待する

会長 田坂 敏幸 (S47年卒)



内藤会長の後を継いで経和会会長となりました田坂敏幸(S四七年卒)です。

経和会執行部も若返り、二人の副会長の権田憲吉氏(企画委員長)、須藤富平氏(総務委員長)と二人の常務理事の平本一郎氏(広報委員長)、大橋秀夫氏(財務委員長)を中心に若手の理事の方々が張り切って活動してまいりますのでよろしくご支援ください。

さて、母校埼玉大学も四月より前経済学部長の上井喜彦教授が学長となり若返りを果たしました。経済学部出身の学長誕生ということ、また、代わって経済学部長には伊藤修経済学部教授が就任されましたこと共に誠にめでたく心よりお慶びを申し上げます。

今年度の経和会は卒業生の参加を呼びかけ、若さ溢れる同窓会活動を推進してまいりますので、今まで経和会活動に参加しなかつた方、特に平成になって卒業された方の学年理事が不足していますのでわれこそはと思う方は参加をお願いいたします。各学科一名、すなわち学年三名の学年理事を募集しています。ホームページから学年理事の有無や名前を確認することができます。理事を希望される方の経和会事務局へのご連絡をお待ちしています。

ております。なお、理事のいる年度の同期会開催には経和会から開催補助金を支給することを考えています。昨秋には株式会社アイネット会長の池田典義氏の呼びかけで横浜にて経和会同窓会が開催されました。また、関西でも経和会関西支部が立ち上がりました。支部長はS四七年卒の飯塚文夫氏です。関西に勤務の卒業生への支援と親睦を中心に活動を開始いたします。関西勤務となりお困りの方はすぐにも連絡を取ってください。本部事務局が窓口になります。

昨年一月には埼玉大学主催のホームカミングデーが同窓会連合会共催で開催され、大学が卒業生に向かって行動を開始した年でもありました。これからは毎年開催されることとです。今年度は経和会も経済学部と共に積極的に支援するつもりです。また、学生からの要望が強かった「埼玉大学歌」が制定され、CDを製作し「埼玉大学発展基金」に寄付された方々に配布されました。寄付された方にはこれからもCDが贈呈されますので発展基金への寄付がまだの方は是非協力しようではありませんか。

このCDには教育学部の鈴木静哉教授が作曲された「埼玉大学祝典序曲」が収録されていますが、この曲には旧制浦和高等学校の校歌「大いなるかな」が挿入されており、埼玉大生の合唱により歌われ、音楽で旧制高校と大学の架け橋となっています。是非一度、お聞きください。

最後に今年一月経済学部の卒業生有志が中心となって、ボランティア精神で大学、学生、同窓会の三者を支援しようとの声が高まり「株式会社埼玉学術事業会(社長 栗原毅氏・S三八年文学部卒)」が誕生しました。さまざまな支援活動を行っていますので、同社の活動に協力したいと思われる方のご参加をお願いする次第です。

## 学長就任にあたって

あたって

埼玉大学 学長 上井 喜彦



私はこの三月まで経済学部長の職にありましたが、四月に埼玉大学長に就任し、日々責任の重さを感じている次第です。本学は来年、建学六〇周年を迎えます。この時にあたり、本学は個性を磨き、輝きを増し、存在感を一層高めるという課題を果たさなければなりません。

四年前に国立大学が法人化されて以来、財政面をはじめ、本学を取り巻く環境は厳しくなるばかりですが、萎縮しては前進しないと私は考えています。そこで、不足するところは協働と連携でカバーするという発想で、外部の諸機関とも協議し、教育、研究、社会貢献の各分野で新しい試みをスタートさせようと準備をしているところです。

もちろん、教職員は埼玉大学の発展のために奮闘します。経和会の皆さんには、学生の就職活動支援や発展基金へのご寄付等、大変ご協力をいただいておりますが、尚一層ご支援・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 埼玉大学発展基金報告

埼玉大学発展基金は一昨年末にスタートし、1年半が経過しました。卒業生の皆様からは3月末現在、約2000名の方から寄附をしていただきました。経済学部卒業生からは約260名の方からご寄付いただいております。誠にありがとうございます。紙面をもって厚く御礼申し上げます。

現在全学で約6500万円が寄付されましたがまだまだ目標の5億円にほど遠い状況です。引き続き、ご寄付をお願い申し上げます。埼玉大学では国から交付される運営費交付金が毎年1%ずつ(年約6400万円)削減されていますが大半が教職員の人件費であり、財政的に苦しい状況にありますので、今後とも皆様からのご支援をお願い申し上げます。

※振込みされる方は郵便局や銀行から氏名、学部、卒業年次を記載の上、お振込みください。

- 寄付された方は大学ホームページの発展基金のページにご芳名を掲載しています。
- ご寄付いただいた卒業生全員には感謝状と「大学歌CD」をお送りしています。
- 5万円以上寄付された方は大会館のパネルにご芳名を掲載しています。
- 30万円以上寄付された方にはクリスタルの記念楯が贈られています。

さらに、昨年より卒業生を大学に招待するホームカミングデーが開催されました。発展基金にご寄付された方には招待状をお送りしましたが、卒業生はどなたでも参加できます。今年も開催いたしますので是非皆様のご参加をお待ちしております。

(埼玉大学 発展基金室事務局)

## 平成20年度 経和会総会の案内

一日時 平成20年7月12日(土) 総会・講演会

二場 所 埼玉大学大久保キャンパス  
さいたま市桜区下大久保255  
048(858)9218  
● 総会・講演会

三 講演 「山一証券破綻に至る経営問題」  
講師 伊藤 修 (埼玉大学経済学部学部長)

四 懇親会会費 五,000円 (経済学部学生・院生は無料)

五 交通 JRR京浜東北線「北浦和駅」より埼玉大学行バス15分または埼京線「南与野駅」より埼玉大学行バス10分(タクシー利用の場合、南与野から1000円程度)

六 出欠連絡 6月23日(月)までに同封はがきにてお申し込みください。



宮田修 アナウンサーの講演



新旧会長



懇親会



総会

### 埼玉大学運動施設 維持管理開放事業 について

埼玉大学事務局  
参事役 千葉 新  
(経済学部五年卒業)

国立大学が独立行政法人となり四年が経過しましたが、その間埼玉大学も他の国立大学と同様に、自主自立の法人運営を求められ、その進捗に対して評価がなされるようになりました。大学は教育と研究を礎とし、その成果を社会に還元することを求められておりますが、とくに法人化後の大学では地域との結びつき、地域への貢献等も重要となつてきております。大学施設についてはすでに図書館等を地域開放してまいりましたが、運動施設についても広いスペースを有していることから利用したいとの地域の方々の希望がありました。運動施設を地域に開放することにより、地域貢献の一助として埼玉大学と地域との結びつきを強めていくことができるのではないかと思います。



埼玉大学図書館

また、埼玉大学の運動施設は年月の経過とともに老朽化している施設が多く、改修が必要とされてまいりましたが、校舎等もまた老朽化してきている状況にあり、整備の優先順位は低くならざるをえず、グラウンドがデコボコしていたり、テニスコートの表面が剥がれてしまつていても、改修することができないのであります。そうした中、国立



改修工事の完了したテニスコート

大学の法人化を機に、法人の自助努力が求められてきたこともあり、民間の力を取り入れた施設整備の方策について三年ほど前から検討を始め、平成一八年五月にはWGを立ち上げ具体的な検討を進めてきたわけですが、施設の改修にあたっては、改修施設を大学に寄附していただくことが前提であり、またこの事業が利益目的でなく、大学の教育・研究の成果を地域に還元するという大きな枠組みがありましたので、平成一八年一月に説明会を開き、趣旨を理解して応じていただける方を公募いたしました。幸いなことに地元企業が地域貢献の観点から応じてくれました。この事業が進み始めたところです。平成一九年八月に表面が剥がれていたテニスコート六面を人工芝のコートに改修し、一月から会員制のスポーツクラブを立ち上げ地域への開放を行い、本学の先生も関与したスクールも始まりました。今後、毎年少しずつではありますが、他の施設の改修を行っていく予定です。地域の方々の利用が着実に増えていき、埼玉大学がより一層地域に浸透していくことができればいいのではないかと考えております。

### 一九年度の就職状況 と就職支援活動 について

埼玉大学就職カウンセラー

昨年は就職戦線が売り手市場になったことに加え、経和会の就職相談員五名が中心となって全学の就職支援活動に取り組んだ結果、素晴らしい入社状況となりました。

業界では金融と公務員に人気が集り大手銀行、生損保やさいたま市役所などの大量入社となつております。(読売ウィークリー二月一七日号の五六大学(首都圏・近畿圏)の業種別就職ランキングで公務員・教員部門で第一位となりました。)

また、経済学部生の就職状況ではさいたま市の八人を最高に一企業に複数の内定者ができるようになったことや、地元志向のUターン就職(県庁、市役所、地元銀行など)も目立ちました。業種では今まで学生の関心の薄かったリース会社がオリックスを筆頭に東京リース、興銀リースなどが就職先となっております。また、IT企業への就職は離職率の高い業界ということもあって、志望者が減っています。

一、九月末に文系理系別就職総合セミナーを皮切りに約五〇回近くのセミナーや企業説明会を開催しました。

二、業界研究・企業研究セミナーを七回シリーズで開催し、多くの経和会メンバーに毎回のようにゲストスピーカーとして業界・企業の特徴を話していただいた。学生には好評でした。参加された方には本当にありがとうございます。

三、一月にはあらゆる業界から一流企業八社を選び、会社説明会を学内で開催しました。昨今の学生は就職活動に自



就活プレセミナーで講演するジャニカ・サウスウィックさん(NHK英語講師)でイメージマネジメンターの専門家

信がなく、なんとなく中小の企業を選ぶ風潮があります。そこで学生に自信を持って企業選びをしてもらうようにと企業選別に工夫を凝らし、都市銀行やトヨタ、日本航空、キヤノンなどの一流企業を招いて実施しました。

学生の評判も高かったです。四、一月三日のむつめ際の初日に三年次と大学院一年次の保護者を大学に招いて就職懇談会を開催した。約五〇〇名の保護者が参加し、熱心に就活の話に耳を傾けられ、懇談会終了後も個別面談を行い就職相談員や学部の進路指導の教員が対応を行いました。

### 第3回優秀論文表彰

#### 優秀論文(経和会長賞)

- 胡 迪 「中国における日系自動車メーカーのマーケティングトヨタ、ホンダの事例を中心に」
- 小林 穂 「時間距離の変動がもたらす人口動態への影響」
- 進藤季美恵 「『つくばみらい市』の未来」
- 平村 隆行 「ストリートパフォーマンスによってまちは活性化されるのか ～ストリートパフォーマンスがまちや人々に与える影響の解明～」

### 19年度経済学部生の主な内定先

(2名以上の内定先)			
さいたま市役所	8	国税庁大宮税務署	2
リソナグループ	4	中央労働金庫	2
日本生命	4	中小企業金融公庫	2
みずほフィナンシャル	4	郵便事業	2
武蔵野銀行	3	川口市役所	2
国民生活金融公庫	3	三菱東京UFJ銀行	2
三井住友海上火災	3	常陽銀行	2
朝日生命保険	3	大和証券	2
オリックス	3	住友生命	2
七十七銀行	3	大同生命	2
全国信用共同組合連合会	3	KDDI	2
日立キャピタル	3	森ビル	2
財務省	2	葵プロモーション	2
国税庁関東信越国税局	2	埼玉大学	2
		その他	1

### 埼玉大学に寄せる思い

西本 千尋

二〇〇一年、入学。授業。最前列、留学生のまっすぐな視線。笑み。焦がれるものがあった。八木信一。目の覚める情熱的な講義に思わず顔をあげた。研究室に遊びにゆき、本の読み方を教わった。紙から新世界が飛び出すようになった。学内に宇井純の資料が眠る地域共生センターがある。狭いエレベーターを不安な気持ちでのぼった。資料を手にとると急に抱きしめられたように、同時に、つきはなされたように感じた。困惑した。知りたいと思った。知りたい。日常を支える見えない構造を、静かに眠る宇井先生の魂の音を、

豊かなる四季の移ろいを感じながら経済学部棟の森を抜けた。岩見良太郎との出会い。ジェーン・ジェイコブス『アメリカ大都市の死と生』より学ぶまらづくりの真髓。眉間にしわを寄せながら話された言葉ひとつ、ひとつがゼミ室に響く。日常に彩を添え、街を舞台に物語を紡いでゆくという豊かさを教えてくださった師に、友人に出会えた場所。資料室書庫。天井まで届く高い書棚。階段を上り、背表紙の文字に届いたときのあの精神の開けたような、ときめき。大学自体が個性を出そう、何かを仕掛けようという中心となるのではなく、何かを見つけたいとする多くの者が主体性を持って集い、挑戦し、真実を、意味を積極的に求め続ける「迷いと希望」の主体。溢れる大学であってほしい。

### TOPICS



埼玉縣師範学校・鳳翔閣(明治11年新築、大正3年県立図書館へ移管、昭和47年浦和郷土博物館(三室)に復元建築)



浦和レッズのエンブレムは埼玉大学の前身・埼玉師範学校校舎の「鳳翔閣」をモチーフに作られています。校舎全体がエンブレムの上部に使われています。



平成19年度総会にて

### Profile

2001年4月 埼玉大学経済学部社会設計学科 入学  
2005年3月 埼玉大学経済学部社会設計学科 卒業  
2005年9月 株式会社ジャパンエリアマネジメント設立  
株式会社ジャパンエリアマネジメント代表取締役

#### 事業内容(提供する3つのサービス)

- 「Money」 まちづくりのお金を生み出そう！ ストリート広告事業
- 「Service」 地域の課題を解決しよう！ 地域課題解決事業
- 「Human & Knowledge」 まちづくりを学ぼう！ 研究・研修事業

詳しくは、<http://www.sari.co.jp/11tennis.html>

# 国際学生交流プログラム

昨年11月28日から12月2日までの1週間の日程で、経済学部井原基ゼミの学生10名が「国際学生交流プログラム」の一環で、タイのチュラロンコン大学を訪問した。10名の学生は、チュラロンコン大学でタイの社会・経済・文化を学び、また、現地の学生の家でホームステイをするなどして交流を深めた。

埼玉大学とチュラロンコン大学の交流は、1997年に双方の経済学部が国際交流協定を結んだときに始まる。最初は学術交流が中心だったが、その後、双方の経済学部の学生が相互に訪問しあう「国際学生交流プログラム」に発展し、毎年3月にチュラロンコン大学経済学部の学生が埼玉大学を訪問、そして本学経済学部の学生も毎年

11月にチュラロンコン大学を訪問している。

参加した学生は、「お金では買うことはできない貴重な体験が出来た」「この異文化体験を学生のうちに体験できてよかった。この経験を社会に出たときに生かしていきたい」と話していた。

埼玉大学経済学部では、タイ・チュラロンコン大学経済学部の



チュラロンコン大学経済学部棟の前で井原ゼミの学生とホームステイ先となった学生の記念撮影。



バイクが行き交うバンコク市街地。



バンコク郊外にあるワット・プラケオ。タイに数多くある寺院の中でも最大級の大きさ。



ほかに、中国・中国人民大学経済学院・商学院と協定を結び、活発な学生交流・学術交流が行われている。また大学としても、国際交流戦略構想を立ち上げ、「地域に根ざし、世界に開かれた大学」を目指している。

今後の埼玉大学経済学部の国際交流を担う人材の育成と、自立した特色ある国際共同研究の推進に期待されよう。



**ご挨拶**  
学部長就任の  
経済学部 伊藤 修

経和会の皆様には平素たいへんお世話になり、心より御礼申し上げます。上井喜彦前学部長が新学長に就任し、私が後任の経済学部長をつとめることとなりました。

私は主目標を《レベルアップ/ランクアップ》に置きたいと考えております。

今年度より経済学・経営学・法学の1年次必修3基本科目を新設、幅広い基礎を全員に徹底した上で、演習などの少人数指導を積み上げます。入試にも工夫をこらし、優秀な学生を集めます。定評を得つつある社会人大学院はひきつづき本学部の牽引役です。もちろん教員は学界をリードするような研究成果をあげていかなければなりません。

本学は現在「世界の大学トップ500」の中位に入っているようですが、これらの取組みで近々より上位に進出し、存在感を高めたいと考えます。

少子化のもと、多くの優秀な志願者を集めることが死活の課題です。経和会の皆様には、ますますのご発展を祈念致しますとともに、卒業生・現役を合わせた埼大同窓 identity の高揚、志願者の獲得について、特にご支援を賜りたく存じます。ご協力のほど何卒よろしくお願い致します。

## ゼミナール紹介コーナー

(原稿は平成二十年二月に寄稿いただきました)

### 李ゼミナール

私達李ゼミは、産業連関分析について学んでいます。産業連関分析とは、アメリカの経済学者であるレオンチエフが発展させた理論で、経済構造や経済波及効果等を分析するのにも有用な理論です。ゼミでの活動は、産業連関分析について書かれたテキストを各自で読んできてレジュメを作成、発表し、それについて討論していくという形式をとっています。もし、テキストに難しい所があれば、李先生が優しく教えてくれます。

また、三年生と二年生とで共に活動するため、三年生の論文作成の過程や発表を聞くことで論文を作成する、発表すると言うことを二年生は直に学ぶこともできます。

### 経済学科

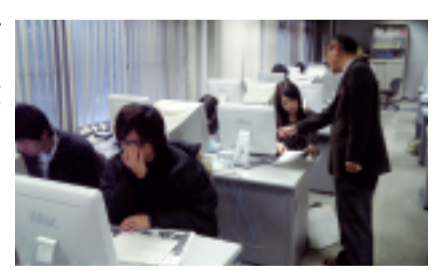


特に、私たちのゼミは生徒自身の自主性が尊重されており、ゼミの運営やイベント等は生徒自身が考え、相談し、実行していくというのが最大の特徴です。そうした活動は、産業連関分析の知識をより深めるだけでなく、仲間との絆もより一層深いものになっていきます。

李ゼミはいつも楽しく活発なゼミだと思っています。(二年 芦川勇樹)

### 山下ゼミナール

私たち山下第一ゼミでは、主に「経営情報」について勉強しています。昨年六月、アメリカの影響を受け日本版SOX法が施行されたのも記憶に新しいかと思えます。日本でも企業経営の存続にかかわるほどの相次ぐ会計不祥事やコンプライアンス欠如による事件が多発し、これらを防ぐため、財務報告や内部統制などに正確で不正のない情報システムの運用が求められるようになりました。



ゼミは、二時限あるうち前半はコンピュータやプログラムについて基礎的な学習、後半は経営情報についてのケース文献を個人、グループで調査研究、発表しています。昨年は顧客管理経営、マーケティング研究

### 本城ゼミナール

私たちが本城ゼミは経済法と社会環境設計をテーマとし、独占禁止法をはじめとする経済法、また関連して消費者政策を主に勉強しています。そのほかにも有機農業や、人としての生き方、生きる意味を考えることにも重点を置いていきます。ゼミを通して専門知識を身に付けることはもちろん、卒業した後、苦しいときなどに、このゼミに入ってきたか、あの時こんな活動をしてよかったか

### 社会環境設計学科

ったかと思えるゼミにすることを目指し日々邁進しています。

また、テーマ中の有機農業に関連し現在堆肥作りを試行中です。また実験の範疇を出ていませんが、昨今の経済活動における有機農業のなしている役割を把握するためにも堆肥作りを実践することで机上でのみ活動するよりも踏み込んだ理解ができるようになるのではないかと考えています。

そして何よりの魅力は、ゼミで先生の素敵な笑顔が見られることだと思っています。先生の笑顔のおかげか、ゼミ中はとてもいい雰囲気です。そんなゼミが私は好きです。(二年 栗原美和)



# 埼玉大学モダンジャズ研究会の思い出

昭和53年卒 小沢 博史

## ジャズ研とのなれそめ



私は昭和四八年経済学部に入學、五三年卒業した小沢博史と申します。卒業後も仕事のかたわら演奏活動を継続し、現在に至っております。このたび経和会会報ご担当の牧村様からのご依頼でジャズ研の思い出を執筆することとなりました。

## 先輩諸氏の思い出

一番強烈な印象を与えてくださった先輩はスコッティ箱崎。(四六年入學、理学部、当時ジャズ研では全員にリングネーム(?)をつける慣わしがあり、箱崎さんはスコット・ラファロという早世の天才ベーシストから頂いたとのこと。因みに私はカシアス小沢でした。)入部してしばらくたってから練習場所である教育棟の合奏室に下駄履き姿で現れた姿を今でも忘れられません。そして演奏、何と彼がベースの弾き語りです。マート・デニスの名曲、エンジェル・アイズを歌ったのです。一発でノックダウンをくらいました。この下大久保の地で頑張るしかないと言いを新たにしました。



した。近所に住んでいた美術部の先輩の下宿に泊めて貰いました。金もないのに本当によく飲みに行きました。

## 我々の時代

経済の同期はジャッキー奥村Jr、平本一郎、工学部のモーガン建、アルデヨ林、高校から楽器をやっていたメンバーが多く、第二期黄金時代といわれました。四年の時に念願の荒川を越えて都内進出を果たしました。高田馬場のビッグボックスで行われたジャズコンテストに参加し予選を突破、決勝に駒を進めたのが良い思い出となりました。

## むづめの思い出

とにかく夜を徹して、演奏をし続けました。酔っ払いの溜まり場の様相を呈してくる中、ひたすらジャズをやる。これも今から思えば楽しい思い出。夜明け前の冷え込みも懐かしい思い出です。

## 終わりに

とにかく楽しく、充実したジャズ研の思い出は我々にとっかかりがえのないものです。今でも時々当時の仲間と演奏をしており、むづめにも毎年遊びについて現役と一緒に演奏を楽しんでいます。埼玉ジャズ研は永遠に不滅です。



昭和49年8月・信州での合宿

看板には「郷ひろみ絶対防衛! JAZZ研」などという訳の解らない文字が連ねてあり、恐る恐る部室を訪ね練習に

参加してみるとこれが結構面白い。先輩が個性的で当然ながら高校時代の浅薄な知識、理解を超えて日々興味深い会話が飛び交っている。技術云々はさて置いてジャズの雰囲気、浸るには申し分のない環境で、段々深みにはまっていきました。

最初に先輩につれていってもらったのが北浦和の鳥高。本当にお世話になりました。それと忘れちゃいけないのがレオの埼玉大生の溜まり場、本当にいろんな人がいま



昭和48年12月のライブ



平成20年3月29日大宮「Sako's Bar」にて、ジャズ研OBのライブ

# 私の交流録

ニッサン石鹸株式会社

代表取締役社長 齋藤 洋 (昭和40年卒)



私が埼玉大学 文理学部 経済学科を卒業したのは昭和四〇年です。今から四〇年以上も前の時代です。もう半世紀近く前の事になります。あつという間の時の流れを感じます。昭和三六年入学当時は、現在と異なり経済学科入學はわずか五〇名程でした。

従って、経済学科メンバーは全員に涉って、あつという間に仲間内として気心の知れた、あるいは、すべて、どういふ人材かが判明してしまつたことを思い出すことができます。

女性も確か一人、台湾からの留学生も一人おられました。今は公園になつていて、北浦和駅前の旧浦和高校時代からの、汚い古い校舎に通つたことを懐かしく思い出します。

当社(ニッサン石鹸)は営業箇所は東京・大阪の二箇所、工場は兵庫・関東(鹿島・名古屋)の三箇所、売上は約二〇〇億円/年、衣料用・台所用・住居用洗剤、柔軟仕上げ剤、マウスウォッシュ、化粧石鹸、シャンプール、入浴剤、ボディ・ハンドソープなど多岐にわたつた商品構成です。

大阪本社事務所に営業と技術部が同居の形を取っていますが、数年後には技術部は東京に移管し商品開発、マーケティング、技術の三部門一体化を計画しております。一昨年、本社を東京に大阪から移したタイミングで、小生の後輩

である田坂参事役のお世話になり、昨年、埼玉大卒業生を理系三名文系三名採用し、技術系は三名とも大阪へ、事務系は二名営業へ、一名(女性)は商品開発へ着任させ、現在戦力になりつつある、と言つたところでしようか。今年は、残念ながら二名と、なかなか、こちらの思うとおり入社が進んでいない。

毎年、継続的に採用は実施して行くことを考えておりますが、いつもながら、「ニッサン石鹸」という低い知名度の壁があつて、思うとおりの採用ができない、というところです。

昨年、幸い、ファーフアというブランドをユニリーバ・ジャパンより買取した関係で、若干、知名度アップにつながつたためか、少しはPRしやすくなつたためか、少々のPR効果も出始めました。

四〇年ぶりに母校に來ました。私が埼玉大生だった頃は北浦和にキャンパスがあり、大久保にキャンパスが移つていることも、去年知りました。同窓会にも時間がなく、行くことができなかったため、次回機会があれば行ってみたいですね。

昭和31年卒 渡辺 玉枝

学生時代は北浦和の栄通りで飲み歩いてきたのだが、先日久しぶりに寄つてみた。跡形もなくなつていた。時代の流れを感じる。

三十七年卒は非常に仲がよく、それぞれの道を歩んでいる学生時代の友人との交流は、私にとって非常に良い刺激だ。

昭和37年卒 大谷 守生

若学生だった私からみて、現在の学生はとも恵まれていいると思う。充実した奨学金制度や、綺麗なキャンパス。羨ましい。

現役の学生諸君には、勉学に遊びに、全てにおいて一生懸命であつて欲しい。

昭和39年卒 飯島 辰夫

## 編集後記

▼学生アルバイトとしての仕事の中心は、編集委員の方と、執筆して下さる方とをつなぐパイプ役となることでした。学生として生活している今、このような経験をすることができたということは、とても意義があることだと思ひます。経和会会報の編集に携つた全ての方々に感謝したいと思います。

若井田

▼前号より編集に携わらせていただきました。多くの方と仕事を一緒にさせていただき、「人が縁を作り、縁が人を作る」ことを実感しています。この縁を土台に、胸を張つて社会に飛び立ちたいと思ひます。

豊島

▼二度目の編集活動は、最初に比べ、不慣れな点を改善出来たと思ひます。ご執筆頂いた方、お手伝いして頂いた方に、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

吉田